

平成30年7月19日

名古屋美容専門学校
校長 塚本 紀之 殿

名古屋美容専門学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

委員長 日置 尚



平成29年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 開催日時：平成30年6月12日（火）9：45～11：15

2. 場 所：名古屋美容専門学校 3F応接室

3. 参加者：12名

学校関係者評価委員

日置 尚	業界関連	株式会社日置美容室 代表取締役社長
伊左治 資生	業界関連	株式会社バディ 取締役マネージャー
越田 隆夫	教育の知見者	名古屋美容専門学校 非常勤講師
橋本 啓樹	卒業生	8期生・株式会社ミッション 統括店長
小原 多江子	保護者	

学校教員・事務員

塚本 紀之	校長
須山 和治	事務課長
垣本 勝三	広報係長
前田 利夫	教務主任
近藤 龍起	学年主任
神戸 克仁	学年主任
下田 智子	就職担当

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（自己点検評価報告書等は事前に送付有り）

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	4	(6) 教育環境	3
(2) 学校運営	4	(7) 学生の受入れ募集	4
(3) 教育活動	4	(8) 財務	4
(4) 学修成果	3	(9) 法令等の遵守	4
(5) 学生支援	4	(10) 社会貢献・地域貢献	3

[評価基準] 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

I 重点目標について

学校ブランディングが重要であり、名美専はその段階に入っている。そのためには国家試験の高い合格率の常態化、有名サロンへの就職、今後の社会変化（高齢化、情報化、グローバル化など）への対応が必要であり、これらの課題を意識して、教育の改善に取り組んでいる。

II 各評価項目について

1 教育理念・目標

- ・マンスリーチェックが学生の学習意欲に繋がっている。名美専の文化になっていて良いと思います。

2 学校運営

- ・情報化についての現状確認と今後の予定についての質問があり、事務課長からデータベース化への意欲や、セキュリティー充実に向けた回答がありました。

3 教育活動

特になし。良いと思います。

4 学修成果

- ・卒業後の離職者に対しても、採用情報の提供がなされています。
- ・卒業後も名美専の先生が卒業生を気に掛け、励ましてくれている。サロンとしてはとても助かっています。

5 学生支援

- ・クリエイティブセミナーやクリエイティブワークによって、職業実践的な課外活動の展開ができていると思います。
- ・学生の職業意識形成や、意欲の向上に役立っていると思います。

6 教育環境

- ・サロンでもPCスキルが必要な時代になっています。学校としてもPCを使用した教材は増やしていく姿勢でした。とても良いことだと思います。

7 学生の受入れ募集

特になし。良いと思います。

8 財務

特になし。良いと思います。

9 法令等の遵守

特になし。良いと思います。

10 社会貢献・地域貢献

- ・「髪や肌のお手入れ講座」は継続予定とのこと。今後は集客も狙いたいとの発言があり、社会貢献の一環だと判断しました。
- ・新たな企画として名古屋グランパスとのコラボの発表があり、成功を祈っています。
- ・社会貢献は単発ではなく継続することが重要と考えます。

III その他

- ・離職率の低下の為、卒業した専門学校の先生たちの支援が、就職後しばらくは必要だと感じています。美容現場との連携、交流、相互理解が更に構築できればと願っています。
- ・名美専は、インターンシップだけでなく、クリエイティブセミナー、クリエイティブワークなど、職業に近い教育を取り入れている。非常に良いと思います。
- ・サロン関係者の授業では、学生の理想と現実のミスマッチが、なるべく少なくなるように、サロンの技術だけではなく、「美容師の仕事とは」「美容師の考え方とは」などを若い美容学生に伝えていきたいと思いました。
- ・保護者からの意見として「名美専にマンスリーチェックがあり、子供が意欲を持って取り組んでいる」ことの報告がありました。今後もマンスリーチェックを大切にされ、名美専の文化として育て上げて欲しい。
- ・子供が名美専を選んだ理由に、先輩が魅力的であったことが大きく影響しました。学生・卒業生が一番の宣伝だと感じました。

以上